

## 令和3年7月大井町教育委員会定例会 会議録

日 時 令和3年7月20日(火) 14時00分～15時20分  
場 所 大井町役場 3階 201会議室  
出席委員 夏苺一壽教育長、石井孝典教育長職務代理者、牧野誠一郎委員、  
中條政夫委員、小島茂子委員  
出席職員 石井浩二参事兼教育総務課長、内田憲治生涯学習課長、  
大川智也指導主事、山崎良徳社会教育主事、  
【書記】山崎好之教育総務課副課長  
傍 聴 人 なし  
会議内容

- 1 開会 夏苺教育長から開会の宣言をする。
- 2 前会議録の承認 令和3年6月定例会の会議録が承認され、中條委員・小島委員が会議録に署名する。
- 3 教育長の報告
  - (1) 教育長の報告 資料により夏苺教育長が説明する。  
(要旨)  
6月定例会以降で出席した主な会議の報告をする。  
全国町村教育長会常任理事会、県西2市8町教育長会議、足柄上地区教育長会議及び神奈川県教科用図書足柄上採択地区協議会小委員会、校長園長会議、臨時小学校長会議等について報告をする。  
全国町村教育長会常任理事会では、GIGAスクールが進む中で、個人情報保護条例との整合性などの課題や一人一台端末の活用状況と持ち帰りでの課題等が話題となった旨の報告をする。  
また、県西2市8町教育長会議では、65歳定年、任期付職員・臨時的任用職員・非常勤職員の人材確保の状況、不祥事防止の徹底、年度始休業の期間設定及び学級編成基準日において学校現場における子どもへの対応(アレルギー・支援計画等)やPC設定への対応等が懸念されるなどの情報提供等がされた旨の報告をする。  
さらに、校長園長会議では、コロナ禍での園学校運営の状況や中学校修学旅行などについて、臨時小学校長会議では、図書館ボランティアの対応や一人一台端末での家庭への持ち帰りに伴う対応等について検討された旨の報告をする。
  - (2) 各課・センターからの報告
    - ①教育総務課関係事業報告 資料により石井参事兼教育総務課長が説明する。
    - ②生涯学習課関係事業報告 資料により内田生涯学習課長が説明する。

【質疑等なし】

#### 4 議 事

##### (1) 議決事項

○議案第 14 号 令和 4 年度使用小学校教科用図書の採択について  
資料により石井参事兼教育総務課長が説明する。

【質疑等なし 継続での採択で承認される】

○議案第 15 号 令和 4 年度使用中学校教科用図書の採択について  
資料により石井参事兼教育総務課長が説明する。

【質疑等なし 継続での採択で承認される】

##### (2) 協議事項

○大井町立幼稚園・学校のあり方について  
山崎教育総務課副課長が資料により説明する。

##### 【要旨】

大井町立幼稚園・学校のあり方検討委員会議（第 3 回）の主な意見等を報告し、教育委員の御意見や感想を伺いたい。

##### (中條委員)

今回で 3 回目の会議だったのですが、委員の半数が交代したことから、今までの会議内容を発展させていくというよりは、新しい立場、新たな角度・視点から色々と御意見をいただいたところです。今までと違ったところは、民間の事業者が入ってくる予定とか、栄光愛児園の定員が増えていっているとか、新たな情報が入ってくることによって、若干今までの会議と違って広がりが見えてきたと思います。難しいのは今後、どこに着地させていくかということです。

個人的には学校や幼稚園は、昔から地域の文化的な中心であり、心のよりどころとなっているのが学校や園であると思います。ですから、できる限り存続させていくことが望ましいというのが私の考えです。また、園児数や児童数が減っていても小規模校は小規模校のメリットがありますし、小規模校でなくては力を発揮できない子もいるので、その意味で小規模校の存在は大きいと思います。

3 回の会議を通じて、いろいろな方々の御意見を伺い、これからも大井町の子どもの数は減っていくわけですが、実際今年度、相和幼稚園の入園者が 0 となり、そのような資料も示されたのですが、だから今すぐに相和幼稚園を閉めてしまう、また、相和小学校も、という雰囲気ではないと感じています。

やはり、相和幼稚園、相和小学校の地域の良さを活かしてできる限り、存続させていくほうが良いと感じています。また、来年度の相和幼稚園の入園者数を注視していく必要があります、本年度0、来年度0となっていくと十分考える必要があると思います。ただ、小学校については、今入学している子がいますので、今どうこうすることはできないと思います。ただ、5年、6年後のことを考えていくところにきていると思います。

(石井教育長職務代理者)

6月に園・学校訪問をさせていただき、相和幼稚園・相和小学校においては一人ひとりに合った環境が整っていると感じました。それはICT教育を早くから行ったことや放課後教室などを積極的に行ってきたことが要因と考えられるのですが、やはり、先生方がお子さんに対して熱心に御指導をしている姿、地元の方々の学校に対する協力体制が地域ぐるみで行われていることが一番の要因ではないかと思います。

一方で今後、存続ありきで過剰なアピールをして町外から多くのお子さんを集めるのは特性からも無理があるのかと考えます。

今後は、民間のこども園の認可なども鑑みていく一方で、多様な考えを取り入れて進めていけると良いと考えます。

(小島委員)

相和小学校はとても和やかな雰囲気、一人ひとりの子どもたちを大切にされており、担任だけでなく、全校の教師がそれぞれの子どもたちを指導されており、すばらしく感じました。やはり、相和地区だけでなく他の地区からも登校するというのも大切かと思えます。

保護者の中には学校に溶け込めない子がいて、クラスを乱してしまう問題なども気にされている方もおられるかと思えます。私は、逆に少人数で馴染めないお子さんや問題行動を起こすお子さんをクラスの中で変えていく、他のお子さんもその子をとおして成長していく良い機会ではないかと思えます。個性豊かな子どもたちを大切にしていってらどうかと思えます。相和小学校だったらそれが可能かと思えます。

(夏苺教育長)

中條委員さんがおっしゃられたように今回から委員さんが半数近く替われ中で、幅広い意見がお聞きできたのかと思えます。特に相和地区においては、委員さんの中で相和出身の方がおられますので個人的な思いもあるかと思えます。

小島委員さんがおっしゃられたように馴染めないという中でPTA活動など、子どもの関わりの中で新たな課題があり、その対応が出ています。そのようなことを受け止めた御発言もあったかと思えます。委員さんから発言された御意見を受け止めて、教育委員会としてさらに深めていければと思えます。

(牧野委員)

相和幼稚園、相和小学校ともに地域ぐるみで応援しているということで私もそうして

ほしいと思います。5・6年先を考えてと言われましたがその辺を鑑みながらやっていきたいと考えます。

(夏苜教育長)

中條委員さんがおっしゃられたように、相和幼稚園の来年度の入園者数は2年くらいきょうだい関係で0ではないことが分かっています。特に他地区から入園希望者があれば当然面接を行いますので、これは小学校も同じですが。こういった動きがあることを理解してもらい選択してもらえればと、教育委員会も考えております。

当然、中條委員さんがおっしゃられたように小学校で受け入れるとなると卒業まで補償する、見ていくということが大事です。ただ実態としてその先の結果が分かっていると地元の子ですら統合される所へ行ってしまふ、先行してそのような選択肢もあります。その辺も含めて慎重に御意見などを伺えればと思います。

この先は9月の頃に会議を行い、意見をまとめ、協議していきたいと考えています。

(中條委員)

この検討委員会議で結論を出すというよりは、～とか…とか、様々な意見があります、という問い方でもいいかと思ひます。

(夏苜教育長)

皆様から貴重な御意見をいただきましたので、事務局の方もよろしくお願ひします。

## 5 その他

○教育委員会の点検・評価について

資料により石井参事兼教育総務課長から説明する。

○ねんりんピックかながわ 2022 について

資料により内田生涯学習課長から説明する。

○町民体育大会・文化祭について

内田生涯学習課長から、コロナ禍を考慮し、町民体育大会は中止、文化祭は来年3月5・6日に延期する旨の説明をする。

○今後の行事等予定について

資料により石井参事兼教育総務課長から説明する。

## 6 閉会 夏苜教育長から閉会の宣言をする。